

サッチ・リムーバー ■ 光合成細菌 ■ マリンパワー による土壌環境の改善

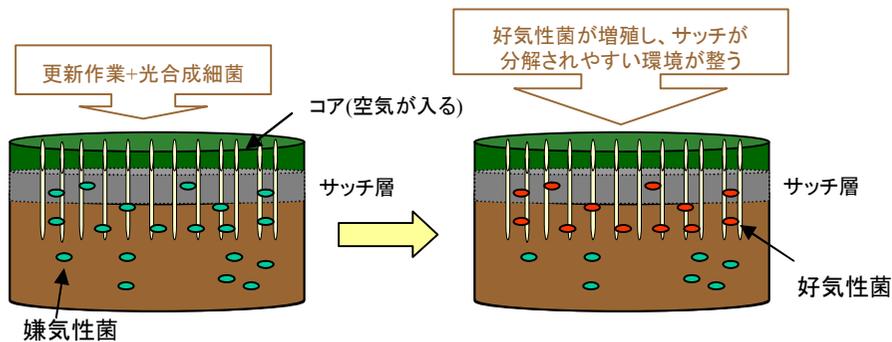
サッチを軽減し、有用微生物が定着できる環境へのアプローチ

昨今のグリーン管理では、ニューベントの導入、刈り高の低刈化で、刈りカスが堆積しサッチ層が増大しやすい傾向となっています。多すぎるサッチの堆積は、通気性・透水性の低下を招き、根域の酸素不足、好気性有用微生物(酸素が必要な微生物)の減少など、芝生に生育に多大な影響を及ぼします。当社は土壌環境の改善案として、**光合成細菌+サッチ・リムーバー+マリンパワー**の組み合わせによるサッチ分解および土壌微生物の活性化を提案させていただきます。

ステップ1

光合成細菌の投入：サッチが分解されやすい環境作り

通気性・透水性が良くならなければ、いくら資材を投入してもサッチの分解は難しい。

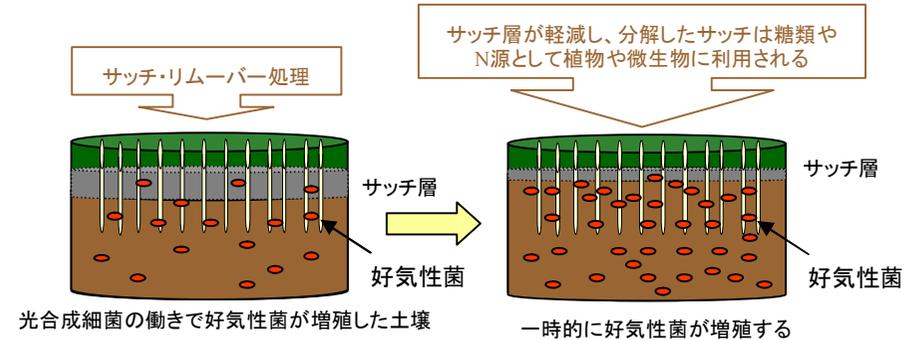


光合成細菌の働きでコア周辺の嫌気性物質(硫化水素など悪臭物質)の分解が促進され、好気性菌が増殖し、サッチが分解されやすい環境が整う。

ステップ2

サッチ・リムーバーの投入：サッチの分解

酵素セルラーゼ、ヘミセルラーゼの働きにより、グリーン表面およびコアの内部から一気にサッチの分解が始まる。



サッチ・リムーバーは酵素剤ですので、短期的にサッチを分解するため、分解されたサッチをエサとして、好気性菌が一時的に増殖します。

ステップ3

マリンパワーの投入：微生物のエサ

サッチの分解後の一時的に増殖した有用微生物を定着させる。

光合成細菌+サッチ・リムーバー処理により、サッチが軽減され改善された土壌環境を維持し、一時的に増殖した有用微生物を定着させサッチ分解のサイクルを確立させるために、芝生はもとより、微生物のエサとして有効な**カツオエキス**の**マリンパワー**を処理します。

